

地方創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」

- 信金中金が、企業版ふるさと納税等を活用した寄附を行うことで、地域の課題解決及び、持続可能な社会の実現に資する地方創生事業を信用金庫とともに応援し、地域経済社会の発展に貢献することを目的。
- 信用金庫と地公体が、地域関係者を巻き込みながら、地域の未来を描き、創ることにチャレンジし、新たな「共通価値の創造」に主体的に取り組むことを期待。SDGsに資する事業への注力。

募集概要

- 実施期間：2020年度から2022年度まで（3年間）
- 寄付金額：1事業あたり10百万円以内
- 申請期間：各年度1回、合計3回の申請期間を想定
- 対象事業：原則して、信用金庫の本店所在地の地公体が行う地域創生事業
- 事業期間：寄附金交付後3年間
- 事業算定方法：信用金庫の本店所在地等の地公体からの申請者及び、信用金庫からの推薦書を受付後、学識経験者などで構成される審査会にて選定
- 審査基準：事業における①経済・社会的効果、②持続可能性、③信用金庫のサポート評価

デザイン力向上による持続可能な都市創造プロジェクト（旭川市）

- （1）デザイン思考による市民参加型まちづくり
- （2）中小企業へのデザイン経営導入の促進

申請内容

- （1）デザインを活かしたまちづくりを推進するため、子供たちのデザイン思考力や創造力を高める、市民参加型のワークショップや学びのイベントなどを開催し、地域活性化につなげる。
- （2）民間事業者の稼ぐ力を強化するため、中小企業がデザイン経営を取り組む際の伴走支援を実施する。

1 デザイン思考による市民参加型まちづくり



「まちなか賑わいSTREET」

主催: あさひかわ未来会議

共催: 旭川信用金庫

設立時期: 2017 年5月

課題:

- (1)「平和通買物公園」の賑わい
- (2)人口減少および地域経済の縮小

目的:

「人で賑わうまちなか」と「商いで賑わうまちなか」の2つの視点で実施。

(中心部の賑わい創出, 若者の郷土愛を育む, 創業の機会等を拡大する。)



旭川デザインウィーク 「まちなかキャンパス」

主催: まちなかキャンパス実行委員会

共催: あさひかわ創造都市推進協議会

設立時期: 2021年8月

課題:

- (1)探求授業の発表の場がない
- (2)学校間の横連携

目的:

旭川の中心部で探求学習の成果を展示し、小中学生に対し、SDGs、デザイン、まちづくりなどを教えながら自らも学ぶ、世代を越えた互学互修の場を創造する。



- SDGsやデザインをテーマに互学互修の場を創出
- デザイン思考による, まちの賑わいを創出

2 中小企業へのデザイン経営導入の促進



旭川信金

事業性評価シート等による業績評価に基づく金融支援をこれまで実施。

- 1 事業性評価シートによる支援(2016年)
- 2 デザイン経営導入に向けた研修実施 (2021年)

旭川信用金庫
流通団地支店

支援

協同組合
旭川木工センター
(組合6社)



旭川市

地方創生推進交付金活用(2020年～)
デザインを生かした持続可能な都市創出プロジェクト

- 1 デザイン経営セミナー
- 2 デザインプロデューサー育成事業
- 3 キッズデザイン事業

あさひかわ創造都市推進協議会と連携し、
デザイン経営導入に取り組む。

- 旭川信用金庫が取り組んでいる事業性評価シート等を活用した中小企業の現状分析
- 将来の事業構築のため、専門家を派遣し、経営デザインシートの活用支援

- 経営にデザインを導入するための伴走支援を実施し、稼ぐ力を強化
- デザイン経営によるブランド構築、イノベーション創出を促進